



谷原小だより 12月号

平成27年12月1日

練馬区立谷原小学校

校長 鈴木 英明

★ものをつくるということ

校長 鈴木 英明

11月20日、21日に行われました展覧会では、たくさんの地域や保護者の皆様にご参観いただき誠にありがとうございました。子供たちがご家族や親類の方を連れて一緒に会場を訪れ、自分や友達の作品の工夫したところ等を紹介している姿を数多く見かけ、嬉しく思っています。皆様に認め、励ましていただいたことで、子供たちのものをつくる意欲が高まったものと感じております。

私もここで作品の感想を記させていただきます。

◎1年生：「パフェをどうぞ」は、豊かな創造力が発揮された作品でした。アイスクリーム、マカロン、クリーム等を器に盛って美味しいを追究した発想がとても素晴らしかったです。

◎2年生：「すんでみたいおうち」は、丁寧さが発揮された作品でした。カッターを使って切った窓やドア、家の中に住んでいる人たちと、細かいところまでの気配りに驚かされました。

◎3年生：「カラフルみのむし」は、発想力の豊かな作品でした。二色、三色と毛糸を巻いたり、一色で裏の柔らかさを表したりと材料選びを工夫できていて素晴らしかったです。

◎4年生：「ロボットウッド」は、木材の組み合わせる発想が素晴らしい作品でした。大きく、小さく、四角、三角と様々な木材を使い、表情豊かなロボットに未来の力を感じました。

◎5年生：「アルミのオブジェ」は、個性あふれる作品でした。一度曲げたら元に戻らないアルミを曲げて、つなげて…。力強いものもあり、可愛いものもありで5年生のオブジェへの気持ちのこめ方に感心しました。

◎6年生：「ARTBOX」には、个性的かつ緻密な作品でした。1つの箱が家になったり、時計になったりと様々な用途の箱を発想し、細部の飾りや置き場へのこだわりが見られ、まるで、6年生、一人一人の姿を見ているようでした。

◎くすのき：「ふしぎないきもの」は、ユニークな作品でした。ホットボンドを使って木の実や枝をつなげて表現した生き物は、どれもが個性的で、今にも動き出しそうでした。

ものをつくるということは、優れた芸術に出会い感動できるという「情操」を育てる面もありますが、「丁寧につくる」、「粘り強く最後までつくる」、「できるだけ美しくつくる」、「協同してつくる」、「責任をもってつくる」、「よりよいものをつくる」等のものづくりの力を育てることにもつながります。今後も、自分でつくるという経験させる機会をつくり、子供たちの「自分でつくる」という意欲を高めていきたいと思っています。

最後になりますが、12月は一年間のまとめの月です。今月もご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ致します。学校では、「目標としてきた力が付いたか」「思いやりの心が育っているか」等、子供の姿をよく見つけ、成長したところをほめ、もう少しのところを励まし、さらに確かな力と心を育てていきます。ご家庭でも一年間を振り返り、子供たちの目標や頑張りについて話題にいただき、子供たちに成長していることを伝えていただけると有り難いです。また、26日からの冬休みの期間に年末年始を迎えます。年末年始に伴う行事への参加、礼儀作法等、古くから日本や各ご家庭にある習慣を学び、体験できる有意義な冬休みとなるよう願っています。



学校として、12月に各学級で楽しく学校生活を送ることができるようにするためのアンケート調査を児童に行います。各家庭においても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合ったりする機会を設けるとともに、何かお子様について心配なことがあれば、学校に御相談くださるよう改めてお願いします。

5年生より

11月には就学時健診がありました。5年生は他の学年に比べて人数が少ないことに加え、新1年生の人数が多いという状況。「これが無事に終われば、伝説の5年生になれるね」と子供達に伝え、事前の準備から真剣な表情で取り組んでいました。当日、ぞくぞくとやってくる新1年生に、初めはどきどきしていた5年生。それでも、少しずつ慣れてきて、身をかがめて話をしたり、視力検査のやり方をやさしく教えたりと、そのお兄さん・お姉さんぶりは本当に立派でした。さらに、自分の仕事が終わってから、周りの状況を見て静かに待つなど、頼もしく成長しています。

そして、小学校生活最後の展覧会。作品はもちろんのこと、名札に書いた文字にまで、気持ちをこめました。展覧会当日には、たくさんの作品から、作った人の思いを感じようと、じっくり時間をかけて鑑賞を楽しみました。「すごいね!」「おもしろい!」「どうやって作ったんだろう」と、心から素直に出た言葉は、本当に美しいものでした。

12月には、音楽鑑賞教室、谷原っこ祭り、社会科見学とたくさんの行事があります。これらの行事はどれも、たくさんの人と関わったり、公共の物を大切に扱ったりしながら活動するものばかりです。「自分だけが楽しければそれでいい」ではなく、高学年として自覚をもち、それぞれの場にふさわしい言動ができるようにしていきたいです。最高学年に向けて、ぐんぐん成長中の5年生。今後のさらなる成長に期待大です。

♪専科より（音楽科）♪

11月後半に入り、だいぶ寒くなってきました。音楽室に来る子どもたちの第一声は「暖かい!」

そして、元気な「おはようございます!」「こんにちは!」などの挨拶の声が響きます。しかし、元気のない声も聞こえます。「はようござまーす」「こんちやー」など、気持ちの入ってない感じのはっきりしない挨拶も、ちょっと気になります。

音楽の授業に来るときに、子供達は、何かを引きずってることがあります。音楽室に入ってきた第一声が元気のない子はやはり、表情がなく声もあまり出ていません。学校生活はいろいろな事がありますので気分が優れないで入ってきた子もいるかもしれません。でもその分、気分転換して、音楽を楽しんで、夢中になって、すっきりして教室に帰ってくればいいなと思っています。

音楽の授業では挨拶をした後、すぐに歌を歌います。いきなりで乗り切れない子もいますが、無理に元気よく歌おうとは言いません。気持ちがほぐれて活動に乗れるよう、授業を進めていきます。

さて、歌唱力をつけるためには積み重ねが大切。日々の発声練習では、声量を上げることや発音を明確にすることをねらいとしています。子供たちには「歌うときは、姿勢、表情、声色、声の大きさ、口の開け方、滑舌など様々なことに注意する必要がある。」と伝えています。毎回何か一つ意識させて歌わせます。

そして一番大切にしたいのは、歌おう!とする気持ちです。明るく元気な曲もさわやかな曲も、静かで穏やかな曲も気持ちを入れるように歌ってほしいなと思います。そのためにも、音楽のすてきな魅力を伝えると共に、心も体も温まって表現したい気持ちが高まるようにと、明るい挨拶で迎え入れる瞬間を大事にしています。子供からも、元気な挨拶が帰ってきて、気持ちの良い授業スタートができるよう心がけていきたいなと思います。

展覧会を終えて

谷原小新体育館での展覧会は、いかがだったでしょうか。

子供たちの日ごろの活動の様子を作品から感じ取っていただけたでしょうか。

会場ではほえましかったのは、兄弟学級での鑑賞の時間です。谷原小の特色でもある兄弟学級ですが、ペアになっている児童の作品を互いに紹介したり、感想を言い合ったりしている様子がすばしかったです。手をつなぎ、ゆったりと会場を鑑賞している様子は、見ている私たちを笑顔にさせてくれました。

共通した「いいね」と思える作品を探したり、自分の友人の作品のよさを話したりしていて、鑑賞が深まっていました。鑑賞のカードには、他学年の作品の材料や表現方法を書いている児童も少なくはありません。また、「高学年になったらこんなことができるんだ」という憧れをもった児童もいたようです。

会場の準備は6年生が迅速に、片付けは5年生がバツフルに行ってくれました。この点も「やわら」らしさです。ポスターは、代表委員会の児童が描き、学校のまわりと、中学校に貼ってくれました。



道徳授業地区公開講座

11月14日土曜日に行われた道徳授業地区公開講座に多数ご参加いただきありがとうございました。当日は、保護者、地域の皆様と合わせて約100名の方の参加がありました。

2校時は、各学級で授業を行いました。「相手のことを思いやり、親切にすること」「友達と助け合うこと」「日頃お世話になっている人々に感謝すること」「家族の役にたつこと」「だれに対しても真心をもって接すること」「自然や動植物を大切にすること」「希望と勇気をもって努力すること」「自分の特徴を知り、悪いところを改め、良いところを積極的に伸ばすこと」など、それぞれの学年にあった資料を使い、考えさせました。

3校時の講演会では、「家庭における道徳教育」という演目で、学校心理士の齋藤登先生にご講演いただきました。先生のお話からは、「道徳とは自分にとって得になるものである。」自分も相手も楽になることだと伺いました。また、子供の成長と親の関わりについては、「褒めることとしかることの大切さ」を教えてくださいました。褒めるときには感謝の気持ちを伝え、しかるときには一貫性をもって接することが必要であること、また、子供のことをいつも見守り、安心感を与えられるようにすることが大切だ、ということも教えてくださいました。講演後の感想には、「親である自分も成長していきたいと思います。」という言葉が書かれていました。

道徳教育は、道徳の時間だけで行われるわけではなく、学校の教育活動全体を通じて行われます。そして、そこで培われた力が、家庭や地域社会などで生かされていく道徳的実践力を養うことがねらいです。今後も、学校と家庭とで協力して、子供達の道徳性を高めていきたいと思ひます。

12月の予定

日	曜	予定
1	火	連合音楽鑑賞教室・読書旬間
2	水	特時 美化日
3	木	個人面談 安全指導
4	金	↓健康の日
5	土	
6	日	
7	月	委員会
8	火	個人面談
9	水	
10	木	↓避難訓練
11	金	社会科見学3年
12	土	学校公開(やわらっ子まつり)
13	日	
14	月	クラブ
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	クラブ
22	火	社会科見学5年
23	水	天皇誕生日
24	木	給食終
25	金	大掃除 2学期前期終了
26	土	冬季休業日始
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

冬休みの生活について

生活指導主任 村上 美予子

校庭整備が始まって約半年。9月からは限られた割り当ての遊び場で休み時間を過ごしてきた子供たちですが、大きなけがやトラブルなく、約束を守って遊ぶことができました。整備が始まった当初は、「校庭で思い切り遊べないことが子供たちにとってどれほどのストレスになるのだろう。」と危惧していましたが、改めて谷原っ子の健全さをうかがうことができ、『ご家庭の力』と、感謝しております。

冬休み明けには、きれいに整備された校庭で、寒さに負けず思い切り遊んでほしいです。

さて、冬休みの生活について、事件や事故に巻き込まれないために、特に気を付けていただきたいことを4点挙げます。

- 自転車に乗るときは、ヘルメットを被り、交通ルールを守りましょう。
- 不審者、不審電話に気を付けましょう。
- お金は家の人と話し合って使いましょう。
- ゲーム機・携帯電話・スマートフォンなどの危険性を十分に理解し、家族でルールを決めて使いましょう。

冬休みは、日本の古きよき文化にふれたり、家族の一員として働いたりするよい機会でもあります。ご家族そろってよいお年をお迎えください。